

金賞 永谷早都実君

北海道大学工学部環境社会工学科建築都市コース 風砂

石狩川河口砂嘴の、開発造成の爪あとが残る埋め戻し平坦地を、地形づくりと植生で回復させようとする計画である。ハマナスなどの海浜植物に、砂は欠かせない。石狩湾から吹く風で移動する砂を受け留め堆積できるように、砂防林のような長壁を建てる。砂丘の稜線のようなジグザグ配置の壁は、遠い将来、砂で埋まり自然地形に生まれ変わる。壁の内部の回廊は、訪れる人に環境啓発と憩いの場を与える。長い時間の経過とともに植物は茂り、木組みの壁は土に帰る。

このように自然環境と建築を時間の大きなスケールで組み立てる着想に説得力がある。回廊内に侵入する砂の演出や、風で回るオブジェのデザインが計画の完成度を高めている。外観の絵画的表現も力量を評価したい。

(文責：齊藤 徹)

